

(令和3年4月試験研究業務月報)

試験研究課題：低コスト植林に適した小型・軽量「コンテナ苗」の開発

研究

小型コンテナ苗の林地植栽試験

近年、マルチキャビティコンテナと呼ばれる細長い容器で苗木を育て、土ごと植栽できるコンテナ苗が、植林用の苗木として注目されています。従来の裸苗木と比較して、コンテナ苗は根が多く、また土ごと植えるため「植栽が容易」「植栽時期を選ばない」「植栽初期の成長が早い」といった長所があります。

しかし、コンテナ苗は、根鉢の容積が150～300mlと、裸苗木より重く、嵩張^{かさ}り、運搬効率が悪いことが課題となっており、これを解決するため、コンテナ苗の根鉢の容積を2分の1（75ml）に小型化する研究を実施しています。

今年度は、小型コンテナ苗の林地植栽後の初期成長を評価するため、令和2年度に試作した小型コンテナ苗を、綾部市君尾山の府有林の一角に植栽しました。植栽した内訳は小型コンテナ苗102本、比較用の標準サイズのコンテナ苗115本及び裸苗木13本の計230本です。これらは、今後、活着率や初期成長量を調査・比較していく予定です。



標準サイズ
コンテナ苗

小型コン
テナ苗(長
さを縮め
たタイプ)

裸苗木



事業地全景

筒状のものは苗木を獣害から保護する資材

農林センター（森林技術センター）